

北原産業

窓付き紙製容器を訴求

中身を見せて商品PRへ

北原産業（岡山県倉敷市、☎086・526・3040）は、中身が見える窓付き紙製

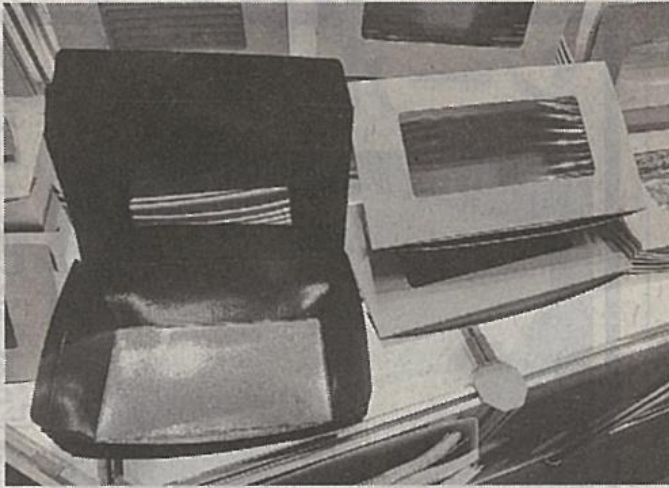
容器として「テイクボックスシリーズ」と「PT紙トレーシリーズ」の訴求に力を入れている。店頭陳列を想定し、天面の蓋部分に透明なプラスチックの窓を付

けて商品の中身を見せることで、手に取ってもらいやすい状況を作り出している。

容器には再生紙を使い、水分が漏れにくいウオータータイト構造を採用した。容器の内側にPPを貼り防水加工を施し、底隅から水や油などの液体漏れを防ぐ。本体と蓋

溢れるマット調のブラック色が人気を集め、食品から医療まで幅広い業界の引き合いが強い。窓なしタイプの容器も展開しており、用途に応じて選択できる。

同商品は顧客ニーズに応える形で開発され、2022年4月に販売を開始。幕張メッセで開催された2023マックスショウにも出展し、耳目を集めた。



高級感溢れるマット調のブラック

部分が一体で積み重ねて収納できるため、組み立てる手間を省き素早く食品を入れられるという。ラインアップは、クラフトとブラックの2種類。特に高級感